

<p>【イベント名】 第17回 ラテンアメリカテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 サンパウロ大学が17回目のテレカンファレンスを開催し、画像の拡大表示の重要性について議論した。セッションがより活性化し、この場で学ぶ知識が参加者により強く残るように、投票システムを用いて発表を行ったことはとても革新的であった。発表方法を改善することで今後のセッションはさらに興味深いものとなると思われる。</p>
<p>【期日】 2018.10.18</p>	
<p>【会場】 サンパウロ大学 (ブラジル), アレマナ病院 (チリ), チリ大学 (チリ),(コスタリカ), コスタリカ ガストロクリニック (コスタリカ), シャープマサトラン病院 (メキシコ), フライアントニオ アルカルデ市民病院 (メキシコ), ブラジル癌研究所 (ブラジル), パーゼ研究所病院 (ブラジル), ミナスジェライス連邦大学 (ブラジル), セルジベ連邦大学(FUS) (ブラジル), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	



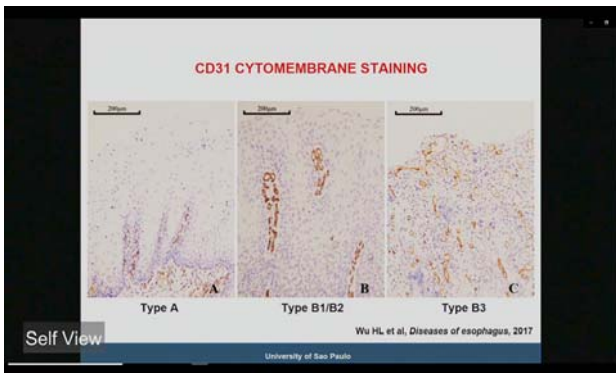
主催したサンパウロでは多くの参加者があった。

撮影場所：サンパウロ大学



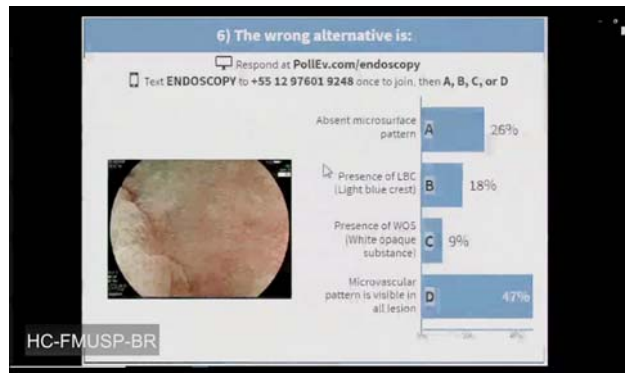
ブラジル癌研究所の様子。

撮影場所：ブラジル癌研究所



提示された病理画像。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



大阪国際がんセンターの様子。

撮影場所：大阪国際がんセンター



チリ大学の様子。

撮影場所：チリ大学